

臨時休業の延長に伴う生徒の皆さんへのメッセージ

相模田名高等学校生徒の皆さん、毎日、元気に過ごしているでしょうか。

3月2日から学校は臨時休業となり、既に2ヶ月が経過したところですが、その間、4月には国において緊急事態宣言が出され、これを受け5月6日まで県立学校は臨時休業となりました。さらに今回、緊急事態宣言の解除はかなわず、本県は引き続き、特定警戒都道府県として指定され、5月31日まで学校の臨時休業が延長されることとなりました。新型コロナウイルス感染の脅威はいまなお収束の目処が立たず、皆さんを感染のリスクから守るためにこうした対策をとることになりました。

皆さんも、こうしたこれまでにない生活を余儀なくされ、そのために、いらだちと多くの不安を抱えていることと思います。これからの高校生活、学校行事、修学旅行や部活動など、不安に思うことはたくさんあると思います。しかし、その不安は自分だけではないことを理解してください。自分だけではないのです。そして、その不安を解消するためには、早くに学校の再開を迎えることです。そのために、今、私たちを含めて皆さんがやらなければならないことは何なのか。それはこの状況を早く収束させることです。そのために自分たちが何をすべきか、ひとり一人がしっかりと考えてもらいたいと思います。

まずは、不要不急の外出を控え、感染防止対策に取組み、自分がウイルス感染しないこと、大切な人に感染させないことです。あと少し皆で踏ん張りましょう。そして皆さんは、学校再開に向け、学校生活がスムーズに送れるよう学習課題にしっかり取り組むこと、IT環境が整っている人はG-suite Classroomに参加することです。さらに今後のことを踏まえ、自分は何をすべきなのかを自分なりに考えてください。こうした自分で考え、行動することは社会に出た際にも必要です。またこれは、相模田名高等学校の生徒として求められることです。自分で考え行動することで達成感を生み自分自身の自信へと繋がります。5月31日まで未来を見据え、この時を、自らを高める機会として捉え、一人ひとりが相模田名高生の一員、社会の一員として、粘り強く前を向き、人に優しく思いやりと希望を持ちながらしっかりと頑張らしましょう。雲の向こうは、いつも青空なんです。

日々、先生方も皆さんの学習を遅れさせまいと学習課題や学習教材を作成し、皆さんを迎えるために校内を清掃して頑張っています。また、事務や技能員の方々も校内整備、事務手続きなど、皆さんが登校してスムーズに学校生活を送れるよう、その準備に教職員が一丸となって全力で取り組んでいます。皆さんも、休業期間中は不急不要の外出を控え、しっかりと学習課題に取り組み、適切な生活習慣を維持し、自らの健康と体力維持のための運動を心掛けて過ごしてください。先生方をはじめ、全ての学校職員は、皆さんが元気に明るく登校してくることを待ち望んでいます。

令和2年5月7日

生徒の皆さんへ

県立相模田名高等学校
校長 都丸 利幸